

<h2>1 総人口</h2>		基準:各年10月1日現在 出典:県統計課「福島県の推計人口(福島県現住人口調査)」
◎前年比 -0.56% 17年連続減	◎震災前比 H26=95.4 (H22=100.0)	
○人口減は震災前から続いており、震災時には減少幅が拡大。 ○震災後は減少幅が徐々に緩やかになっている。 ○減少幅の縮小は、社会動態の改善によるものとみられる。		
<h2>2 児童数の推移 (平成22年度小学校入学児童)</h2>		基準:年度 H22年度小学校入学の児童数の推移 出典:文部科学省「学校基本調査」(H27年度は速報値)
◎前年度比 +0.3% 3年連続増	◎震災前比 H27=93.1 (H22=100.0)	
○震災前の平成22年度に小学校に入学した児童は、震災直後の平成23年度に前年度比△6.0%の大幅減となった。 ○小学4年生となる平成25年度は前年度比+0.6%となり、以降も3年連続で増加している。		
<h2>3 合計特殊出生率</h2>		基準:暦年 出典:厚生労働省「人口動態統計」(平成26年は月報年計の概数値)
◎前年比 +0.05ポイント 2年連続増	◎震災前比 H26=103.9 (H22=100.0)	
○平成25年に上昇に転じ、震災前の水準へ回復。 ○さらに平成26年は1.58となり全国9位、東日本では1位の高水準へ上昇。 ○前年からの上昇幅は、平成25年に+0.12、平成26年に+0.05となり、2年連続で全国最大。		
<h2>4 県内総生産(名目)</h2>		基準:年度 出典:県統計課「福島県県民経済計算」(確報、平成25年度は早期推計)
◎前年度比 +6.9% 2年連続増	◎震災前比 H25=104.3 (H22=100.0)	
○平成24年度の経済成長率は全国2位。 ○平成25年度の速報値は7兆2,776億円となり、震災前を上回った。 ○建設業が震災前の2倍に伸びたことが大きく影響。 ○製造業や電気・ガス・水道業も、全体を押し上げた。		
<h2>5 一人あたり県民所得</h2>		基準:年度 出典:県統計課「福島県県民経済計算」(確報、平成25年度は早期推計)
◎前年度比 +8.7% 2年連続増	◎震災前比 H25=110.9 (H22=100.0)	
○平成24年度の増加率は全国1位。 ○平成25年度の速報値は283万3千円となり、2年連続で増加。 ○県内総生産の回復に伴い、民間法人企業所得が大幅増となったことが主な要因。		

<変化方向について>

緑:良い動き 赤:悪い動き 黄:横ばい で表示。

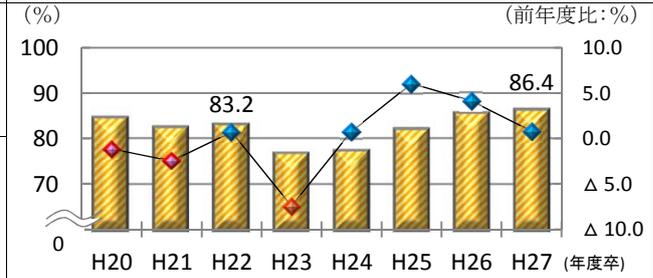
※逆向き指標(子どもの遊離者数等)が減少した場合、下向きかつ緑(良い動き)の矢印となる。

6 高校卒業予定者の県内就職希望者割合

基準:各年度5月15日時点調べ
各年度末卒業予定者における県内就職希望者数/就職希望者数
出典:福島労働局業務資料

◎前年度比
+0.7ポイント
4年連続増

◎震災前比
H27=103.8
(H22=100.0)



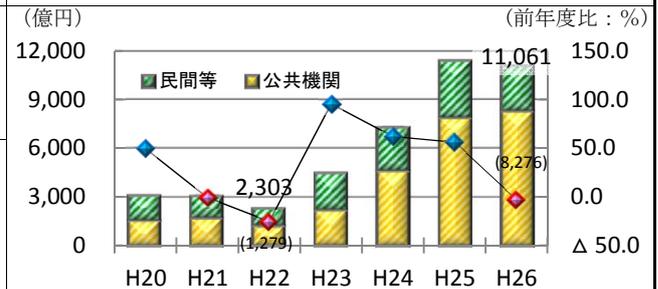
○年度末高校卒業予定の就職希望者のうち、県内での就職を希望する生徒の割合は、平成24年度末卒業予定者から4年連続で上昇。
○平成27年度末卒業予定者では86.4%、統計が残る平成元年度以降、最も高い割合。

7 建設工事受注高 New!

基準:年度 県内で施工される建設工事の発注機関別計
(公共機関、民間(土木・機械装置等):1件500万円以上、民間(建築等):1件5億円以上)
出典:国土交通省「建設工事受注動態統計調査報告」

◎前年度比
-2.7%
4年振り減

◎震災前比
H26=480.3
(H22=100.0)



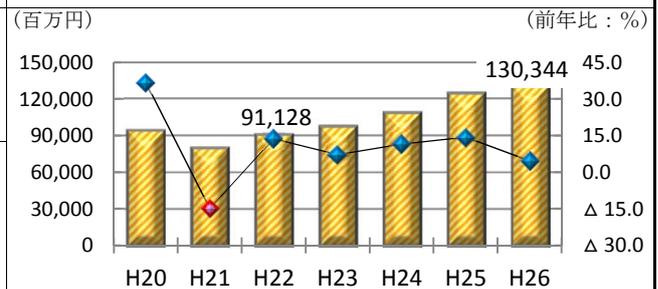
○平成23年度は前年度の195.3%となり、以後も復旧工事が本格化するにつれ増加し、平成26年度は1兆1,061億円となった。
○特に公共機関発注工事は、平成26年度に8,276億円となり震災前の647%へ増加している。

8 医療機器生産額

基準:暦年
出典:厚生労働省「薬事工業生産動態統計」

◎前年比
+4.7%
5年連続増

◎震災前比
H26=143.0
(H22=100.0)



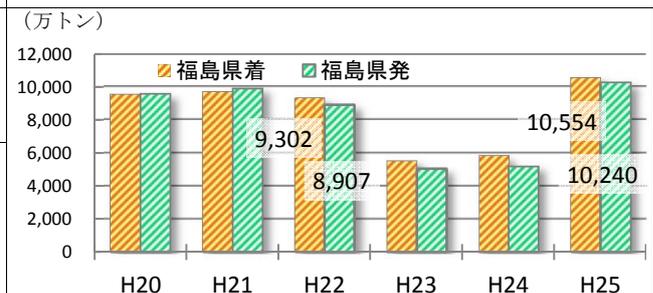
○医療関連産業の集積は、復興計画の重点プロジェクトの1つであり、着実に生産額を伸ばしている。
○平成26年は130,344百万円で、前年に引き続き全国3位の生産県となっている。

9 貨物輸送トン数 New!

基準:年度
出典:国土交通省「貨物地域流動統計」

◎前年度比
福島県着 +80.8%
福島県発 +97.6%
2年連続増

◎震災前比
福島県着 H25=113.5
福島県発 H25=115.0
(H22=100.0)



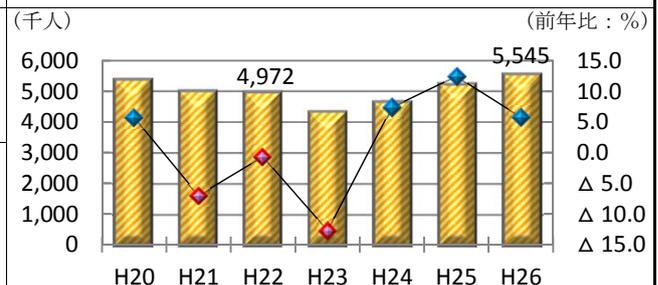
○震災前の貨物輸送は、発着ともに9,000万トン前後で推移していたが、平成23年度にそれぞれ約4割の大幅減。
○平成24年度は前年度から微増にとどまったが、平成25年度は物流が本格的に活発化し発着ともに1億トンを超え、震災前を上回った。

10 県外からの延べ宿泊者数 New!

基準:暦年
出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」(従業者数10人以上の施設)

◎前年比
+5.8%
3年連続増

◎震災前比
H26=111.5
(H22=100.0)



○平成23年に前年比△12.7%の大幅減となったが、翌年は上昇に転じた。
○平成25年は500万人を上回り震災前年を超過。平成26年はさらに増加し5,545,390人となり、東北では最多人数となっている。

各指標の詳細なデータについては、出典元の各統計をご覧ください。